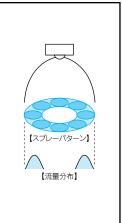
微霧発生ノズル/小噴量空円錐形 ーサクションー

BIMK.S







重力高さ(+)

注:写真はT形アダプターを使用

- ■平均粒子径が30ミクロン以下(※1)の"微霧"を発生する 2流体空円錐ノズル。
- ■液供給は加圧装置が不要のサクションタイプ
- ※1 レーザードップラー法による測定値。

主用途

- ■散布:離型剤、消臭剤、油、表面処理剤、防錆剤、潤滑剤、ハチ ミツ、防虫剤、尿素水。
- ■冷却:金型、ガス、鋼板、鋼片、鋳物、車体、塗装物、板硝子、 プラスチック。

吸い上げ高さ(-)

■調湿:紙、排ガス、セラミック、コンクリート。

■ノズルチップ+コア+キャップ+アダプターの4部品(アダプターの種類についてはP.26、27をご覧ください。) ■材質:S303(オプション材質S316L)

■BIMKシリーズの寸法と取付ネジサイズはP.27をご覧ください。

オプション品

■ノズルを使用箇所に取り付けるための自在ホルダーを用意しています。P.30をご覧ください。



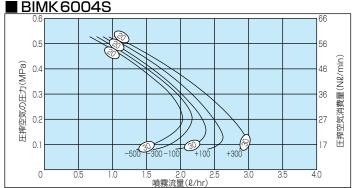
各アダプターを取付けた 3D CAD図をダウンロード いただけます。

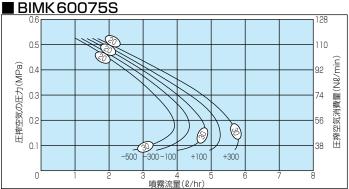
流量線図

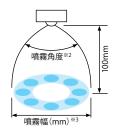
■線図の読み方

- ①噴霧流量(ℓ/hr)は、ノズル1個のものです。
- ②各曲線の足元の数字は(-)は吸上高さ、(+)は重力高さを示します。(単位: mm)
- ③○内の数字はレーザードップラー法によるザウター平均粒子径(µm)を表し ます。
- ④流量線図はT形·N形アダプターでの性能を示します。





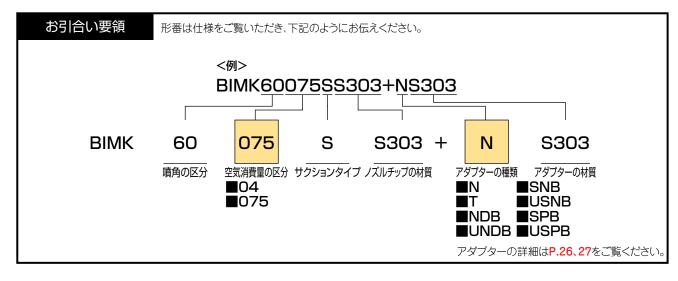




仕様

噴角の	空気		空気			噴量(ℓ/hr)	噴霧幅	平均粒子径(µm)	異物記	加通過径(mm)			
区分	区 分 消費量 工		消費量	重力高	重力高さ(mm) 吸上高さ(mm) (mm) _{レーザー}					レーザー	チップ	アダプター	
% 2	*2 の区分	(11.1 4)	(N ℓ /min)	+300	+100	-100	-300	-500	*3	ドップラー法	噴口	液空気	
	04	0.2 0.3 0.4	27 36 46	2.8 2.4 1.9	2.5 2.1 1.7	2.3 2.0 1.6	2.2 1.9 1.5	2.0 1.8 1.4	120 120 120	20 \$ 30	0.6	0.9	0.9
60	075	0.2 0.3 0.4	56 74 92	5.5 5.1 4.7 4.3 3.5 3.2		4.7 4.0 2.9	4.3 3.7 2.7	3.9 3.3 2.5	120 120 120	20 \$ 30	0.8	1.2	1.4

- ※2 噴霧角度は圧搾空気圧力0.3MPa、吸上高さ100mmのときのものです。 ※3 噴霧幅は吸上高さ100mm、噴霧距離100mmのときのものです。

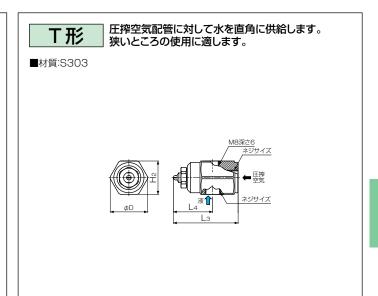


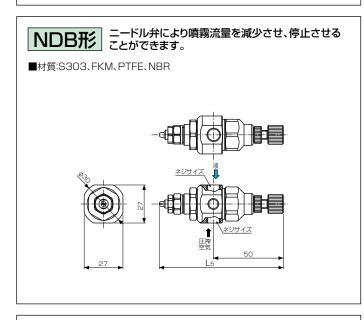
微霧発生ノズル/アダプター

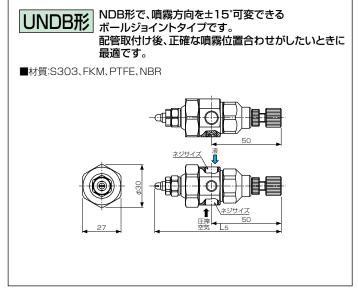
P.13~22に記載のBIMシリーズ-BIMV,BIMV.S,BIMK,BIMK.S,BIMJのそれぞれのアダプターの種類は下図の通りです。

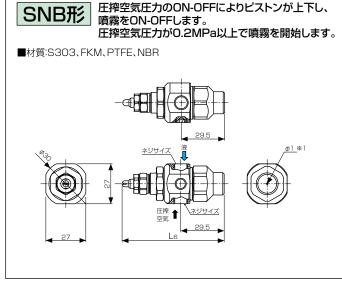
アダプターの種類

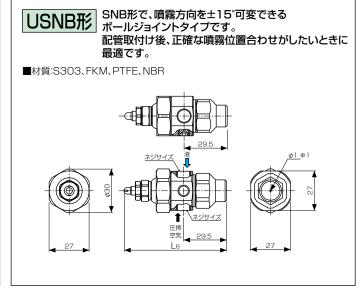
水・圧搾空気をアダプターの両側より供給します。 N形 ■材質:S303 ネジサイズ





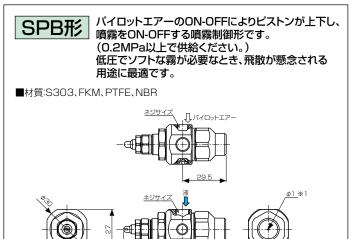






※1 エアー抜き用の穴です。

アダプターの種類

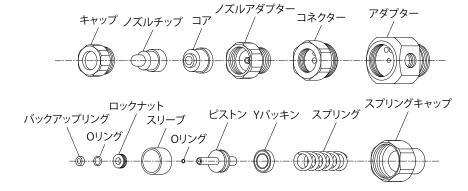


※1 エアー抜き用の穴です。

USPB形で噴霧方向を±15°可変できるボールジョイントタイプです。配管取付け後、正確な噴霧位置合わせがしたいときに最適です。 ■材質:S303、FKM、PTFE、NBR

アダプターの構造

例として、SPB形アダプターの構造を示しています。 アダプターにより構造は異なります。



注意

ノズルアダプターは薄肉のため、 単体で組み付けると変形します。 まずコア、ノズルチップ、キャップ、ノズルアダプターを軽く組み付けてからコネクターまたはUTボールに組み付けてください。

また工具は、スパナでは変形しやすいためソケットレンチ(六角)を使用してください。

NDB形・UNDB形・SNB形・USNB形・SPB形・USPB形アダプターが対象です。

取付けネジサイズと質量

アダプター	空気消費量	ネ	質量		
の種類	の区分	圧搾空気	液	パイロットエアー	(g)
N	02,04,075	Rc⅓	Rc⅓	_	55
IN	15,22	Rc¼	Rc¼	_	130
Т	02,04,075	Rc⅓	Rc⅓	_	80
'	15,22	Rc¼	Rc¼		210
NDB(UNDB)	02,04,075	Rc1/8	Rc1/8	_	172
(סטאוט) סטאו	15,22	DC 78	NC 78	_	193
SPB(USPB)	02,04,075	Rc1/s	Rc1/8	Rc1/s	146
SPB(USPB)	15,22	DC 78	NC 78	NC/8	167
SNB(USNB)	02,04,075	Rc1/8	Rc1/8	_	151
SIND(OSIND)	15,22	HC /8	HU /8	_	172

寸法

空気消費量	寸法(mm)														
の区分	Lī	L2	Lз	L ₄	L ₅	L ₆	а	Hı	H2	φD					
02	25.3	16.3	40.8	24.8	87.3	66.8	32	17	21	23.5					
04	26.8 17.8		42.3	42.3 26.3		68.3	32	17	21	23.5					
075	28.1	19.1	43.6	27.6	90.1	69.6	32	17	21	23.5					
15	39.1	39.1 26.6		38.1	97.6	77.1	43	23	29	32.5					
22	41.3	28.8	62.3	40.3	99.8	79.3	43	23	29	32.5					

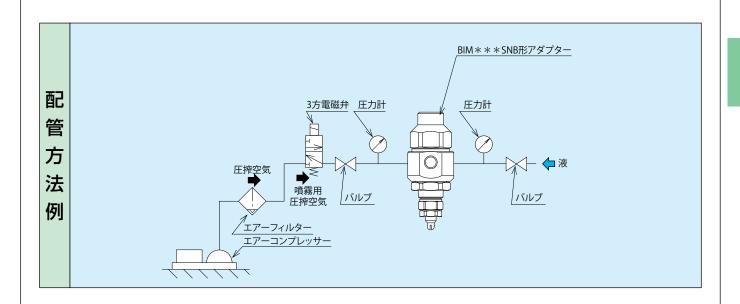
微霧発生ノズル/アダプター

制御形アダプターの使用方法

■ SNB形アダプター

圧搾空気圧力が0.2MPa以上で噴霧を開始します。 圧搾空気をON-OFFすると噴霧がON-OFFします。 P.31のCSN形アダプター、P40のSN形アダプターも 同じ使用方法です。

	作動タイムチャート														
圧搾空気	OFF	ON	OFF	ON	OFF										
液	停止	噴霧	停止	噴霧	停止										



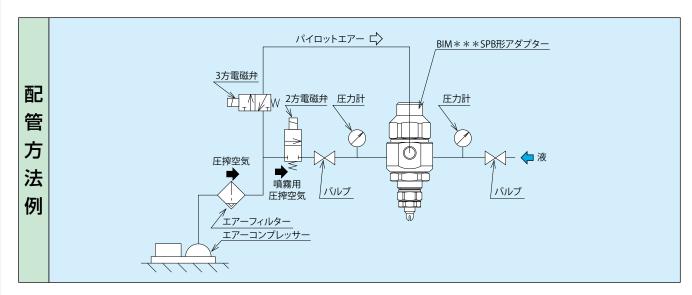
■ SPB形アダプター

パイロット(制御)エアーでピストンを動かすタイプです (O.2MPa以上で供給ください)。

微粒化用エアーは低圧から使用できるため、ソフトな霧や 粗い霧を作ることができます。

飛散が懸念される用途に最適です。

P.31のCSP形アダプター、P40のSP形アダプターも同じ使用方法です。



微霧発生ノズル/特殊形状

BIMシリーズは、以下のように特殊形状の製作も可能です。 こちらは一例です。ご要望に合わせて設計をいたしますので、ご相談ください。

斜め向き噴射タイプ

噴霧の向きを傾けて製作します。



図はT形アダプターのものです。 各種アダプターでの製作が可能です。 アダプターの種類については、P26、P27をご覧ください。

アダプタ一部にネジが切っており、直接めねじに接続できます。

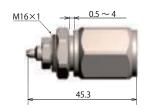


図はT形アダプターのものです。 各種アダプターでの製作が可能です。 アダプターの種類については、P26、P27をご覧ください。

ネジ取付タイプ

壁取付タイプ

装置やダクト内の雰囲気に、なるベくノズルをさらしたくない時に 有効です。



図はT形アダプターのものです。 各種アダプターでの製作が可能です。 アダプターの種類については、P26、P27をご覧ください。

手締めタイプ

手締めでチップが分解できるため、メンテナンス性に優れます。



図はT形アダプターのものです。 各種アダプターでの製作が可能です。 アダプターの種類については、P26、P27をご覧ください。

ロングタイプ

噴霧対象から距離があるとき、距離を取って噴霧したい用途に。



図はT形アダプターのものです。 各種アダプターでの製作が可能です。 アダプターの種類については、P26、P27をご覧ください。 壁取付タイプでも製作が可能です。 長さについてはご相談ください。

90°曲げロングタイプ

90°のアングルをつけて使用できます。



図はT形アダプターのものです。 各種アダプターでの製作が可能です。 アダプターの種類については、P26、P27をご覧ください。 壁取付タイプでも製作が可能です。 長さについてはご相談ください。

壁取付・自在タイプ

フレキシブルチューブで配管部分を構成。 噴霧向きを大きく調整できます。



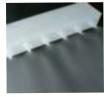
図はT形アダプターで、壁取付タイプのものです。 各種アダプターでの製作が可能です。 アダプターの種類については、P26、P27をご覧ください。

特殊材質

特殊材質でのノズルやヘッダーの製作も 承っています。

耐薬品性を求める用途などでご検討いただけます。

例) PP、HTPVC、PTFE、チタンなど、ご相談ください。



HTPVC製ヘッダー

微霧発生ノズル/使用例・オプション

BIM自動スプレーの使用例

■ BIM(SNB形·SPB形アダプター)と制御ユニットを組み合わせた使用例 制御ユニット 液加圧 タック エアーフィルター コンプレッサー

オプション

■ 自在ホルダー

ノズルを装置の支柱(金属棒)に取り付け、固定することができます。 アダプター形式がN形以外のものに取り付けられます。 取付けポール径はφ8用とφ10用の2種類があります。

ご希望の方は、

 ϕ 814 BIM ϕ 8MBW.

 ϕ 10は BIM ϕ 10MBW とお伝えください。



3D CAD図をダウンロード いただけます。



■ 噴霧ユニット BIMガン

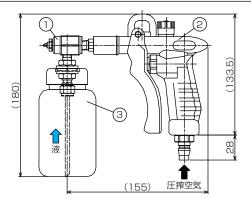
250mlのタンクを取り付けたサクションタイプ。 エアー流量調整機能を標準装備しています。 薬液噴霧などにご使用いただけます。 オプションで500mlのタンクも準備しています。





圧力調整用キット。 両端カプラと減圧弁をセット。

注) BIM**04タイプのノズルをご利用 時は、圧力コントロールのためこちらが 必要になります。



【最高使用圧力】0.5MPa

【構造】 ①ノズル本体 ②ガン ③タンク 【材質】 S303、S304、PP、PE 他接続部の材質 タンク部:PE ノズル部:S303

液の種類によってはご利用をお控えいただく場合があります。

お引合い要領

形番は下記のように表示してください。

(扇形タイプ)BIMV,Sシリーズをご使用のとき

BIMV8004SS303+TS303 サクション噴霧ユニット(250mlタンク付) BIMV80075SS303+TS303 サクション噴霧ユニット(250mlタンク付)

(空円錐タイプ)BIMK.Sシリーズをご使用のとき

BIMK6004SS303+TS303 サクション噴霧ユニット(250mlタンク付) BIMK60075SS303+TS303 サクション噴霧ユニット(250mlタンク付)

噴霧の目安としては、それぞれ下記のようになります。

●BIMV8004SおよびBIMK6004Sのとき:30ml/min ●BIMV80075SおよびBIMK60075Sのとき:60ml/min

微霧発生ノズル/チップ互換一覧表

チップ互換一覧表 ◎印どうしはノズルチップを交換することにより、噴霧角度・スプレーパターンの変更が可能です。

BIMシリーズ

			液加圧タイ														・イプ												サ	クシ	ョン:	タイプ			
										BIM	/								BIN	ЛΚ		ВІМЈ										BIMV.S			K.S
			11002	11004	110075	11015	11022	8002	8004	80075	8015	8022	4502	4504	45075	4515	4522	6004	60075	6015	6022	7004	70075	7015	7022	2002	2004	20075	2015	2022	8002S	80045	30075S	60048	
		11002		X.	X	X	X	0	: Х '-	X	X.	X	<u> </u>	X	X.	-1-,	X	X	Χ	+		<u> </u>	X	X	X	0	X	<u> </u>	X	X	×	X	X	X	
		11004	- <u>:</u> -		- <u>X</u> -¦	. <u>X</u> -	<u> -</u>	X	<u> </u>	X	¦. <u>X</u> .	¦.Ş.	X.	<u>; </u>	¦ X	¦Ş.	¦.X	0	X	- <u>X</u> ¦		<u> </u>	X	- <u>X</u> ¦	<u>~</u>	X;	<u> </u>	. <u>X</u> .¦	- <u>Ş</u> .¦	¦.;;-	- <u> X</u>	X ;	Ϋ́		Ϋ́
		110075	- <u>×</u> -	-6-1	>-	<u>~</u> -	 !	-		×	iâ.	X	<u>×</u> ×	÷	X	X	: X : X	- -	X	X :	×	X	<u> </u>	<u> </u>	×	$\frac{1}{2}$	- <u>\$</u> -	<u> </u>		 -≎-	- <u>~</u> ;		÷		$\frac{\times}{\times}$
		11022	- <u>^</u>	i 🔯 i	÷	×	<u> </u>	X	ŀŵ	†Ŷ	¦×		kŷ.	Ιŵ	ţŵ.	×	¦∂-		X	×	\bigcirc	ŝ	$\hat{\mathbf{x}}$	צ		Ωť	ŝt	÷	×	lâ	- <u> </u>	$\hat{\mathbf{x}}$	ŝł		χł
		8002	0	X	X	X	X		X	X	X	X	0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	0	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	В	8004	X	0	X	X	X	X		X	X	X	X	0	X	X	İΧ	0	Χ	×	X	0	X	X	×	X	0	X	X	X	×	X	X	X	X
	M	80075	X	X	\bigcirc	Χ	X	X	X		X	X	X	X	0	X	X	Χ	\bigcirc	X	X	X	0	X	X	X	X	\bigcirc	X	Χ	X	X	X	X	×]
	V	8015	X	X	X	\bigcirc	X	X	X	X		X	X	ΙX	Ι×	0	X		Χ	+	X	X	X	0	X	X	X	X	0	Χ	X	X	X		X
液		8022	X	X	X	X	<u>: </u>	X	¦Χ	<u> </u>	¦Χ		X	X	X	¦ ×	0		Χ		(X	×	Χ¦	0	X	X	X	X	0	X	X	X	1	X
		4502	<u> </u>	X	- <u>X</u>	X.	<u> X</u>		; X	; X ;-;-	; X - ; ; .	: X	- 55-	; X ~	X		¦ <u>X</u> -	X		+	X.	<u> </u>	<u>X</u> .	<u>. X</u> ;	<u>-X</u> -	<u>Q</u> :	X;	. <u>X</u> .	- <u>X</u> ;	X.	- <u>×</u> ;	\times	X.		×.
加		4504	- <u>`</u>	\mathbb{Q}	X	X-	<u> X</u>	X		¦À	<u> </u>	¦-Ş-	X	¦->	<u></u> ,×.		: X	- =- :	<u> X </u>	- <u>X</u>		_ <u>@</u> ¦	X	. <u>X</u> ;	<u>×</u>	X.	<u> </u>	<u>. X</u> .¦	-&-	¦.⊹	- <u>S</u>	-			X
圧		45075 4515	×. ×	-6-1	₩;	<u> </u>	- <u>^</u> -	-Ç-	ŀŵ	: -	<u>:</u>	÷÷	X X	: X : X	ŀ	^	: X : X	- <u>×</u>	×	<u>-</u>	- <u>`</u> -	- <u>-</u>	<u></u> ;	<u>:</u>	×	⊖¦	÷	. <u>U</u>	<u> </u>	¦⊹	- <u>-</u> -}-		÷		÷
		4522	- <u>^</u> -	×	÷	×		×	. X	: X	. <u></u>	0	kî.	;-^- : X	Lii.	. X	<u>-</u> -		X	1		-^ i	- <u>^</u> -i	∵ X :		Ω	- <u>^</u> -	· 🔆	<u> </u>		- <u>^</u>	÷:	÷	X	
タ	В	6004	X	0	X	X	X	X	0	X	X	X	X		X	X	X		X	X	X	0	X	X	X	X	0	X	X	X	X	X	X	_	X
1		60075	X	X	0	X	X	X	X	0	ΪX	X	X	ΪX		X	¦Χ	X		×	X	X	0	X	×	X	X	0	X	X	×	X	X	X	×
プ	M	6015	X	X	X	\bigcirc	X	X	X	X	0	Χ	X	X	X	0	X	X	X	\leq	X	X	X	\bigcirc	X	X	X	Χ	\bigcirc	Χ	X	×	X	X	×]
	K	6022	X	Χ	X	Χ	0	Χ	X	X	X	0	Χ	¦Χ	¦Χ	X	0	Χ	Χ	X		X	X	X	0	X	X	X	X	0	X	X	X	X	X
		7004	X	\bigcirc	X	X	X	X	0	: X	[X	X	X.	0	<u>X</u>	X	<u>:</u> ×	0	X	_X		\sim	<u>.X.</u>	<u> </u>	<u>×</u>	X	0	<u> </u>	X	X	_ <u>×</u> :	X	.×.		\times
		70075	X.	X	0	X	<u> </u>	X	X	<u>¦ (0)</u>	¦Χ.	X	X	¦X	¦©.	X	¦ X.	- <u>X</u>	0	<u> </u>	<u>X</u> .	- <u>X</u> ¦	->-	<u>, X</u>	<u>×</u> .	<u> </u>	- <u>X</u> ¦	<u>. (0) </u>	<u> </u>	X.	- <u>X</u> ;	X	ΧĮ		
	В	7015	- <u>:</u>	L 🔆 - :	- <u>()</u> -¦	<u> </u>	X	X	- X	: `	<u>.</u> ♥	X	<u>X</u> X	X	! X.	<u>; ©</u>	: X	- <u>×</u>	1		X	-X	X	· 🖂	<u>-X-</u>	. <u></u>	- <u></u>	. <u>.</u>	<u> </u>	LX.	- <u>×</u> :		$\frac{\times}{\times}$	X	×
	Ĭ	7022 2002	^	\sim	<u> </u>	×	. <u>V</u>		. X	<u> </u>	· ^	. V		. ^	<u> </u>	<u> </u>	<u>: </u>	X	X	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	\ \ \	× ;	$\overline{}$	X	<u> </u>	${}$	<u> </u>	<u> </u>	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	<u> </u>	${\times}$	$\frac{1}{x}$	$\hat{\mathbf{x}}$
	M	2004	×	6	÷	·	. ^.	×	6	- -	-	÷	ŀ¥.		÷ 🔆	×	: 🛠	<u></u>	: -;-i	-≎;	×		- Ş -F	-⊋÷	÷	·->	-(· 🔆 -	÷	:	ŀ≎÷	÷	÷	- \$-+	χł
	ر	20075	×	×	<u> </u>		X	X	X		X	X	X	X	¦ô	Ϋ́	ţX-	X		- <u> </u>	X	×;	<u>a</u>	Ϋ́	$\hat{\mathbf{x}}$	$\frac{1}{X}$	- <u>-</u> -	\leq	χ̈́	ΪX	Ì	$\hat{\mathbf{x}}$	χÌ		X
		2015	×	X	X	0	X	X	X	ĬŽ	0	X	×	ΪX	ţX.	0	X	l 4	X	<u> </u>	X	- <u>:</u>	X	<u> </u>	X	X	×	 : :		X	×	X	×	X	×
		2022	X	Χ	X	X	0	X	X	X	X	0	X	X	X	X	0		Χ		0	X	X	X	0	X	×	X	X	\\\	×	X	X	X	X
サク	В	8002S	×	X	X	X	X	X	X	X	X	X	×	X	X	X	X	X	Χ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X		X	X	X	X
サクション	Ŵ	8004S	×	X	X		X	X	X	X	X	X	×	X	X.	X	<u> </u> ×		X	×	X	\times	X	X	X	X	X	X	X	X	X		X	0	X
2	S B	80075S		X	X	X	; X	X	X	¦ X	X	¦ X	X	X	X	X	; X	X	X	X	X	X	X¦	X	X	X	X	X	X	X	X	X¦	\searrow	X¦	0
タイプ	υ-Σ <u>ζ</u> -υ	60048	- <u>:</u> -		- <u>X</u>	. <i></i> -	<u> </u>	<u>X</u> -	. X	: X	; X : ∵	: X	X.	: X		-1	: X		X	+		- <u>×</u>	F		<u>×</u> .	X	- <u></u>	X.	-X	X-	-X	0	X	->-	<u> </u>
プ	Ś	60075S	X	X	X	Χ	; X	X	¦	X	<u> </u>	X	X	¦ X	; X	X	; ×	X	X	X ¦	Х	X ;	Χ¦	X ¦	X	X;	Χ¦	Χ¦	Χ¦	¦Χ	X	X;	\bigcirc	<u> </u>	\rightarrow